

アグアスだより

2016年3月号

夢をもつことの意味

「子どもの夢」は世相を映す鏡といわれます。ある教育機関が「わが子の将来の夢」と題して行った調査では、「子どもの夢」は次のような結果でした（調査は小学生の子どもをもつ保護者対象）。こうした順位は、どういふ社会の変化を反映しているのでしょうか。

まず、男子の1位は「サッカー選手」、2位は「野球選手」と、ともに男子の人気職種が上位でした。ところが意外なことに、野球選手と同率2位になったのが「学者・研究者」です。最近、物理学や化学の分野でノーベル賞の受賞者が多くなり、あこがれる子どもが増えたからかもしれません。ちなみに男子の4位以下10位までは次の通りでした。④医師、⑤エンジニア、⑥建築士、⑦ゲームクリエイター、⑧警察官、⑨料理人、⑩鉄道運転士。

次に、女子の1位は「パティシエ・お菓子屋」、2位は「教員」でした。いずれも長年不動の人気職種です。一方、かつて人気職種だった「看護師」が8位に低下し、「医師」が3位に浮上しました。医者は男性、看護師は女性という、かつてのイメージがなくなり、女医の活躍を間近に見ることで、医師を志す女子が増えているからでしょう。女子の順位は以下④歌手・アイドル、⑤保育士、⑥花屋、⑦ピアニスト、⑧看護師、⑨薬剤師、⑩料理人、が続きました。

子どもの時の夢を生涯もち続け、実現できる人は、それほど多くはないでしょう。それでも、子どもの時の夢と希望は大きくもって、大人になるにしたがって、それを現実にあった確かなものにしていくことは大切なことです。

さて、先日の全校朝会で、「夢をもつことの大切さ」をテーマに、ある医師の話をしました。その医師は、末期ガン患者の病棟に勤務していました。病院を訪問した私たちが「そうした患者を前にして、お医者さんはどうするのですか」と質問したところ、即座に

「決してあきらめません」と答えてくれたのが印象的でした。そして、次に述べるような、ある患者の話をしてくれました。

そのご老人（女性）は、余命半年の末期ガンの患者として、その病院に入院してきました。その段階で、すでに治療が難しい状態だったといいます。それでも、その医師は決してあきらめずに、ふたつの働きかけをしたそうです。まず、ご老人にできるだけ話しかけて、話を聞いてあげるようにしました。すると、ご老人は昔の話を始めました。それを医師は「うんうん」とうなずきながら聞いたのです。そして、「ご苦労されたんですね」などとあいづちをうちました。そうこうするうちに、ご老人は医師の誤りを指摘するようになりました。

もうひとつは、ご老人に未来への夢をもってもらうようにしました。ご老人には北海道にかわいいお孫さんがいました。そこで、「早く元気になって、お孫さんに会いに行きましょう」とくり返しいいました。すると、ご老人の顔色がよくなって、表情も生き生きし出したといいます。そうした働きかけを続けたところ、驚いたことに、余命半年といわれた患者は、見違えるように元気になって、しばらくして病院を退院するほどになったといえます。そして、念願がかなって、本当に北海道にいるお孫さんに会いに行くことができたのだそうです。その後、ご老人は何年も寿命を延ばし、（病気ではなく）天寿を全うされて亡くなったといえます。

その話を聞いて、私は人間にとって夢をもち、その夢に向かって生きることがそれほど重要なことなのか、と深い感慨に打たれました。先日の遠足で行った動物園に、バクという動物がいました。バクは夢を食べる動物、といわれています（注）。私たち人間もまた夢によって生かされているのかもしれない、と考えさせられました。

子どもたちのだれもが将来への夢をもっています。高校進学への夢、スポーツや勉強への夢、職業への夢など様々でしょう。「夢は決して逃げない。いつも逃げるのは自分の

方だ」といいます。本校の子どもたちには、いつも自分の夢と向き合い、夢を実現するために努力する人生を歩んでもらいたいと思っています。私たちもまた、子どもたちの夢を育み、夢を支え、応援する学校をめざしたいと考えています。

平成27年度が終わろうとしています。様々な出来事のあった年でした。学校は、これからも「時代の要請と学校の教育課題に応える教育」をめざして、改善に努めていく考えです。平成28年度も、引き続き保護者のみなさまの、変わらぬご支援とご協力をお願いする次第です。

(注) 本当は、夢を食べる「獺」は、中国の伝説上の生物です。哺乳類のバクは、獺と姿が似ていることから、その名前がついたといわれています。(校長 大越邦生)

離任者挨拶

あつという間の3年間。本当に毎日が新たな出会いの連続でした。現中学部1・2年の子どもたちと一緒に汗を流した組体操。現小学部4・5年の子どもたちと行ったカレンダーリオ工場などなど…。アグアスカリエンテス日本人学校で出会った、大好きな子どもたちと素敵な保護者の皆様に感謝いたします。私は、宮崎に戻り、ここで学んだことを活かし、次の夢にむけて頑張っていきます。3年間、本当にありがとうございました。

教務主任 津曲 康夫

一番の思い出は、何ととっても音楽ステージです。全校児童生徒が一丸となって練習に取り組む様子は、この先一生忘れないと思います。頑張る子どもたちの姿に、いつも励まされると同時に、この子どもたちと一緒に過ごせる時間に幸せを感じていました。毎日がとても楽しくて、あつという間の2年間でした。本当にありがとうございました。

小3担任 吉永 紗也佳

前任校の校長先生からアグアスという地名を初めて聞いたとき、どこの国にあるのか全く分かりませんでした。でもここアグアスで、純粹で素直な子どもたち、協力的な保護者の皆様と出会い、すばらしい思い出がいっぱいできました。アグアスで過ごしたこの2年間とアグアスという地名を、私は絶対に忘れません。いろいろとお世話になり、本当にありがとうございました。

小6担任 真次 秀一

全校児童生徒700名以上の小学校から赴任した私は、全校57名だった大きな家族のようなこの学校がすぐに大好きになりました。気付けば3年。出会った子どもたちのことはどの子も一人ひとり思い出すことができます。この温かい家族の中に身を置かせていただけたことに感謝しております。保護者の皆様、3年間ありがとうございました。

専科 平野 梓

3月行事予定

3月	2日(水)	委員会、クラブ(最終)
	4日(金)	音楽鑑賞会
	9日(水)	4時間授業、全体保護者会、学級懇談会
	16日(水)	卒業式予行(3,4校時)、大掃除(5校時)
	17日(木)	送る会(3,4校時)、卒業式準備(5,6校時)
	18日(金)	修了式、卒業式、離任式、謝恩会(午後 小6,中3)
	19日(土)	政府派遣教員・学校採用教員本帰国(津曲,真次,平野,吉永)
	21日(月)	(休)ベニートフアレス誕生祭
	24日(木)	(休)セマナサンタ(~25日)
4月	7日(木)	転入説明会
	11日(月)	着任式、始業式、入学式

1年間、皆様に、学校教育へのご理解とご支援を賜り、本当にありがとうございました。